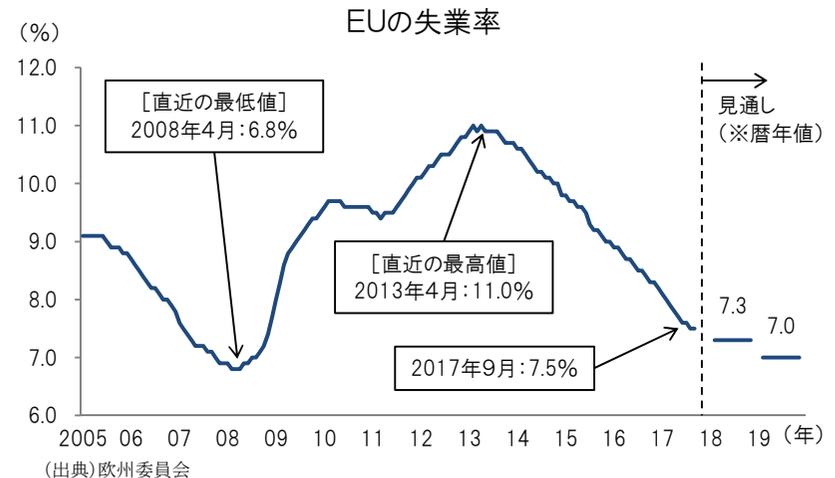
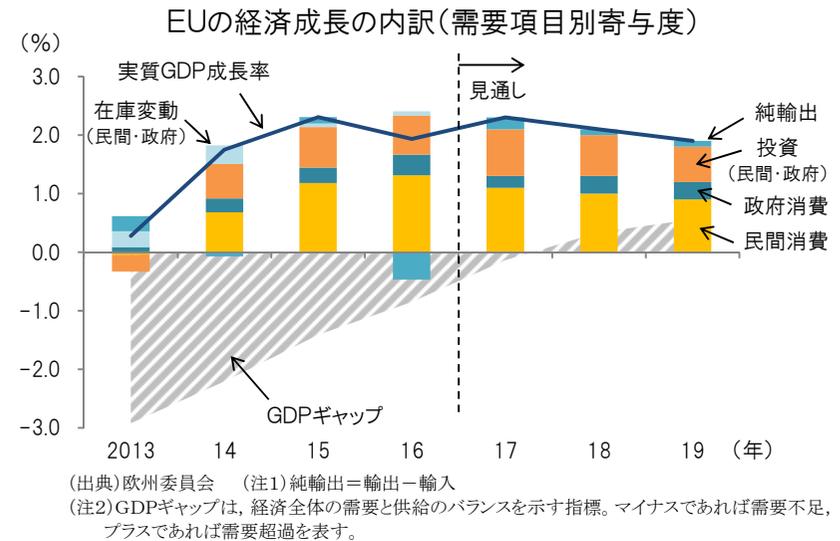
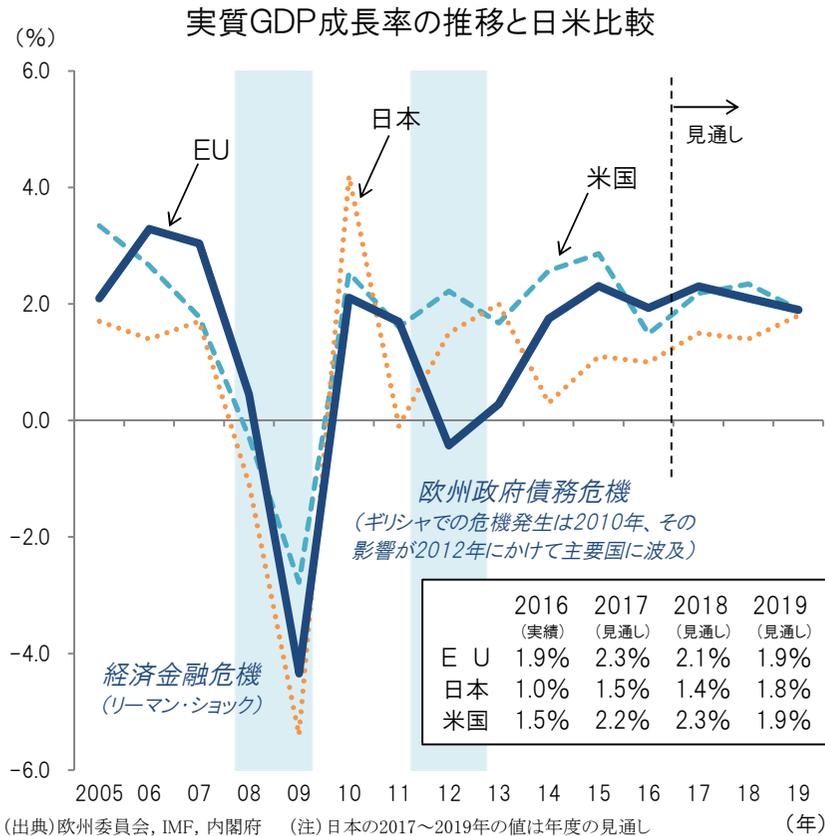


- EU経済は、近年の2つの危機を経た後、2013年から5年連続で堅調な景気回復を実現。失業率も低下を続ける中で、民間消費や投資等の内需が現在の回復を支えている。
- 先行きについては、経済全体の需要不足が解消するにつれ、幾分ペースは緩やかになるものの、内需主導の景気回復が続く見込み。

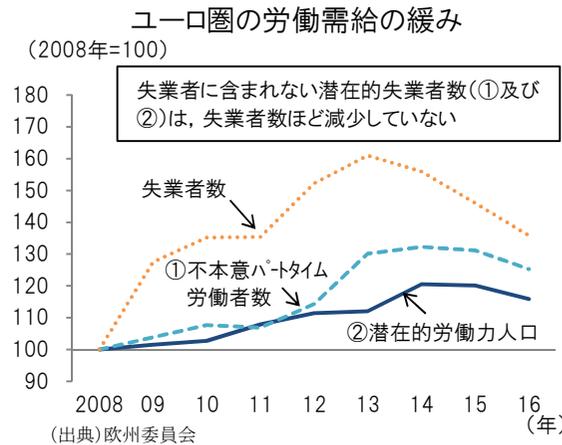
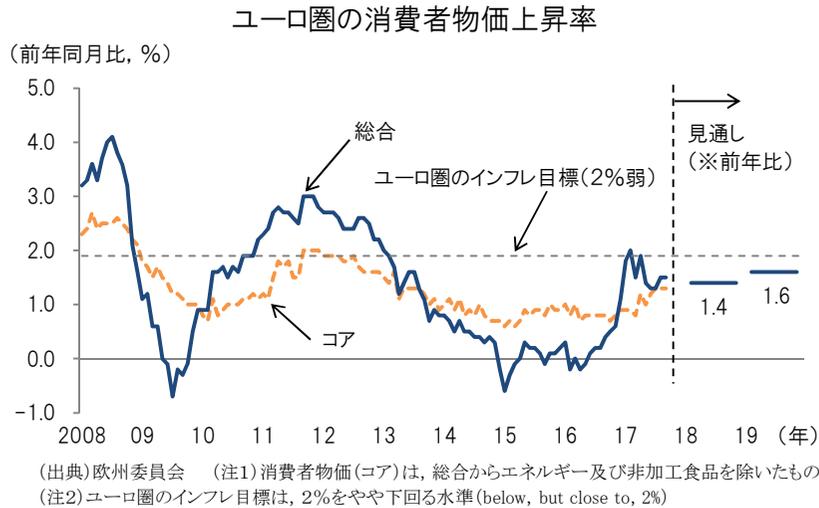


(参考) 経済規模の比較 (2016年)

【名目GDP】		【人口】	
EU: 16.5兆ドル (14.9兆ユーロ)	約3倍	5.1億人	約4倍
日本: 4.9兆ドル (537.1兆円)		1.3億人	
米国: 18.6兆ドル		3.2億人	

EU経済の現状と課題②

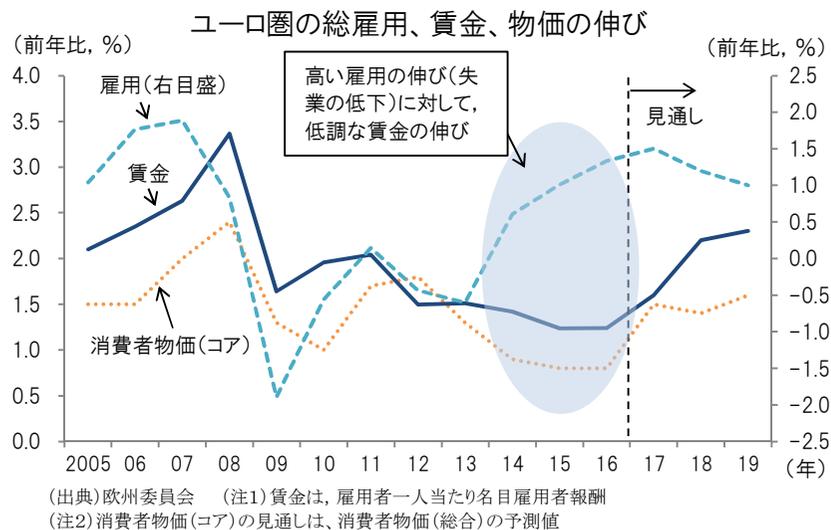
- 一方、需要不足が解消されるにもかかわらず、物価上昇のペースは抑制気味。その背景にあるのは賃金上昇のペースが緩やかであること。
- 失業は減少し、雇用は増加するも、依然として労働市場には需給の緩みが存在し、賃金上昇を抑制しているおそれ。このように、欧州経済は、未だ十分に回復を遂げたとは言い難い段階。



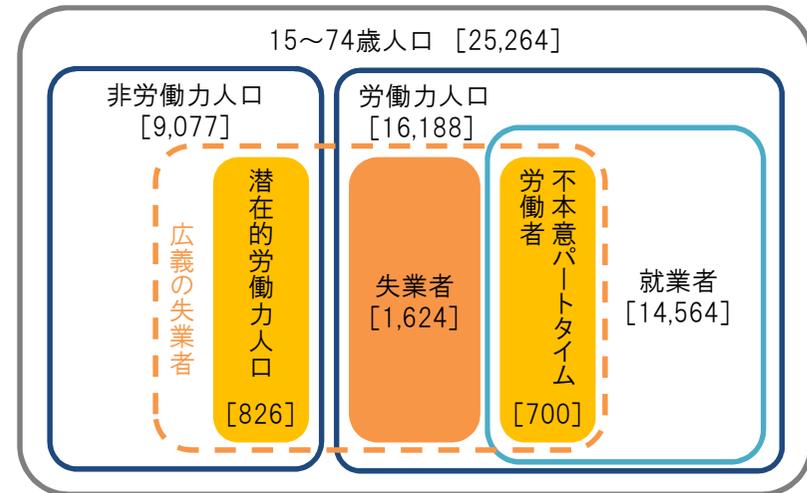
(注1) 用語の定義

- ① 不本意パートタイム労働者:
より長時間働くことを希望しているパートタイム労働者
- ② 潜在的労働力人口:
働く意欲はあるが、何らかの理由で、求職活動を止めているか、もしくは、すぐに働き始めることができない無業者

(注2) ①、②のいずれも、統計の定義上、失業者とはみなされない。このため、これらの存在が未だに大きいユーロ圏の労働需給は、失業率の低下ほどには逼迫していない可能性がある。



ユーロ圏における雇用状況(2016年)



(注) []内は人数(単位:万人, 2016年1月1日現在)

EU経済の現状と課題③

- 欧州経済の更なる回復を支えるべく、EUのマクロ経済政策は、今後も緩和的な金融政策や非緊縮的な財政政策を継続する方針。

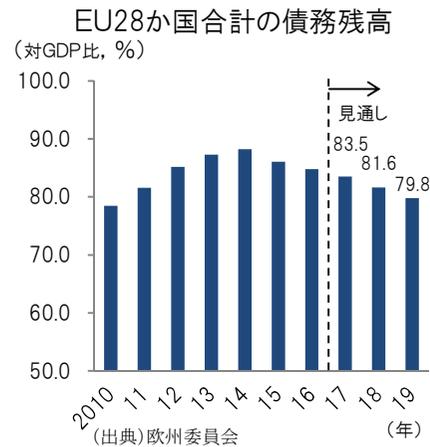
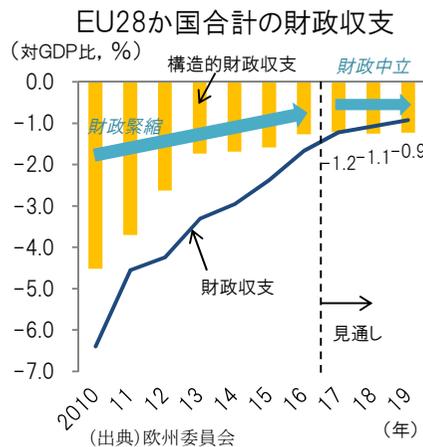
EUの財政・金融政策

(緩和的な金融政策) ※ECBによるユーロ圏の政策

- ・政策金利は0.0%，中銀預金金利はマイナス金利
- ・国債購入等の量的緩和策を実施(資産購入額は、2017年末まで毎月600億ユーロ、2018年1～9月は同300億ユーロ)

(非緊縮的な財政政策)

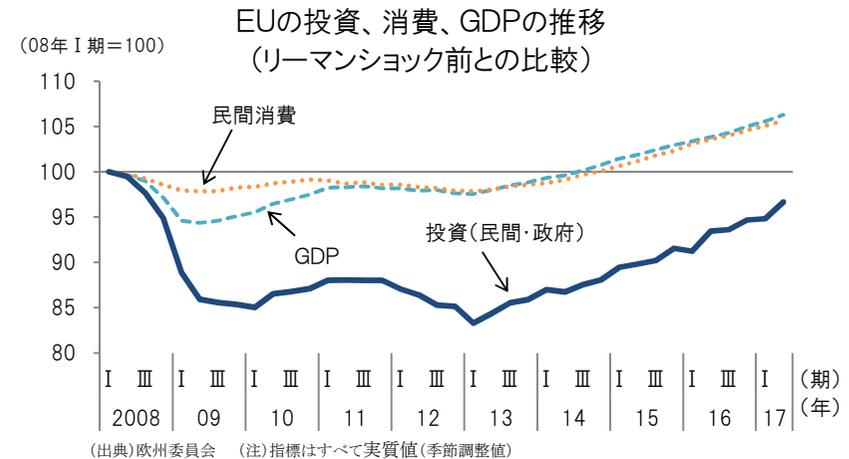
- ・EU28か国合計の財政収支は、各国政府の改革努力や、景気回復・低金利の影響により、着実に改善
- ・その一方で、景気回復による改善効果を除いてみた構造的財政収支は先行き横ばいとなっており、EU全体の財政運営は、景気回復を阻害しない非緊縮的なものとなる見込み



EU経済が抱えるその他の主要課題

投資の促進

- 景気回復が続く中、EUの投資は伸びているものの、その回復は力強さに欠ける。
- 投資の不足は、足元の回復を妨げるだけでなく、将来の生産力の低下にもつながり得る。



EUの主な取組

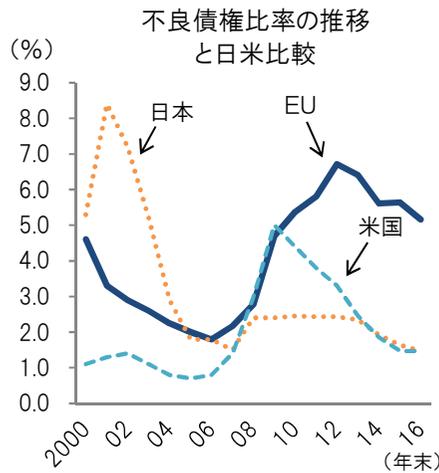
✓ 欧州投資計画(ユンカープラン)

- ・欧州戦略投資基金(基金総額210億ユーロ)を創設し、官民の投資計画を支援。公的資金を呼び水に、民間投資を呼び込み。
- ・2015～2017年の3年間で3,150億ユーロの投資促進を目標(昨年9月には、2020年までに5,000億ユーロという新たな目標を提示。)

EU経済の現状と課題④

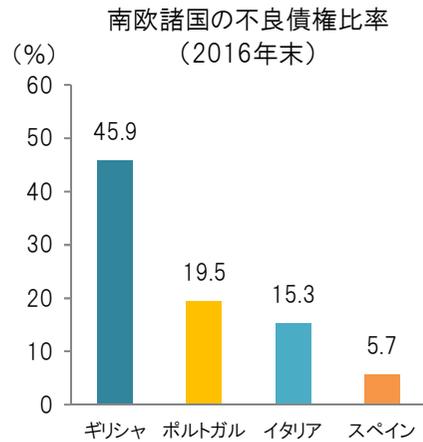
不良債権処理の加速

- EU加盟国の中には銀行部門が多額の不良債権を抱えている国が存在。
- 不良債権は、銀行の収益圧迫による金融仲介機能の低下や、それに伴う投資の減退等をもたらし得る。



(出典)世界銀行

(注)ここでいう不良債権比率とは、各国・地域における債権総額に占める不良債権の割合。



(出典)欧州銀行監督局

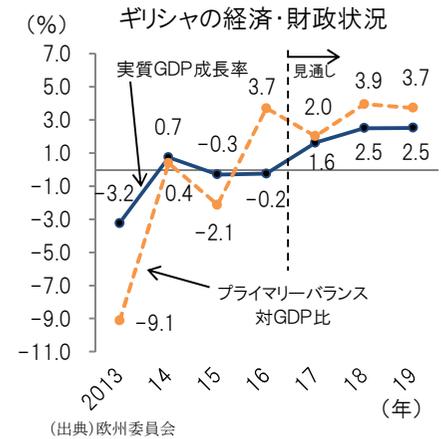
EUの主な取組

✓ 不良債権処理のための行動計画

- ・2017年7月に次の取組を含む行動計画を採択。不良債権処理の加速に向けて、施策ごとに1~2年程度の比較的短い実施期限が設定されている。
 - 銀行から不良債権を買い取る資産管理会社設立の検討
 - 不良債権を扱うマーケットの発展
 - 不良債権処理に関する共通ガイドラインの作成

ギリシャを巡る情勢

- 2017年以降のギリシャ経済は、プラス成長の見通し。財政も、2017年以降のプライマリーバランスは2%を超える黒字で推移する見込み。
- ギリシャは、現在もESM(欧州安定メカニズム)から金融支援を受けており、その審査の動向等には引き続き注意。



(出典)欧州委員会

EUの主な取組

✓ 第三次ギリシャ支援プログラム(2015年8月~18年8月)

- ・ギリシャの財政改革を条件として、ESM(欧州安定メカニズム)から最大860億ユーロの金融支援を行うもの。2017年10月までに合計402億ユーロの支援を実施。
- ・2018年夏のプログラム終了を前に、改革の進捗を確認する第3次レビューが現在進められているところ。

英国のEU離脱に伴う不確実性

- 2017年6月 EU・英国間で交渉第一段階(離脱協定)開始
 - ↓
 - 交渉第二段階(将来関係等)に移行
 - ↓
- 2019年3月29日 英国のEU離脱(移行期間?)